

GIGA スクール構想でも紙はなくなる 「デジタルか紙か」を子どもが自由に選択できる環境を

「紙かデジタルか」は、 子どもが選ぶ

「GIGAスクール構想時代なのだから、すべてタブレットでやればいい、紙は時代遅れ」という意見がありますが、決めるのは大人ではありません。子どもです。端末や複合機を子どもにたくさん使うことで、「デジタルかアナログか」を、目的に合わせてその都度選択できるようになります。社会に出てからも役立つ、「学び方」が身についていくのです。



桃山学院教育大学
人間教育学部
木村 明憲 准教授

子どもが自分で判断してこそ、 「個別最適な学び」

印刷するか、端末で作業するか。子どもたちは経験を積むにつれ、少しずつ自分で判断できるようになっていきました。子どもが自分で最適な方法を選んでこそ、「個別最適な学び」になるのだと思います。



六ヶ所村立南小学校
甲地 美香先生（5年担任）

GIGA スクール構想先進校は、 カラー複合機を常設している！

GIGAスクール構想先進地域として名高い愛知県春日井市は、小・中学校に2クラスに1台の割合で、カラー複合機を常設していると聞きます。GIGAスクール構想でも、紙は必要なのです。印刷して手元に置いておくと、いつでも自分の学びを振り返られます。印刷物を観察して鉛筆で書き込んでいくと、触覚が刺激され、思考が活性化します。印刷しておけば、クラウドに入れない保護者や地域の方も、子どもたちの学びを見ることが出来ます。



六ヶ所村教育委員会
学務課
指導グループマネージャー
木村 智先生

低コストだから、 自由に使わせても安心！

ランニングコストが安いので、子どもに自由に使わせても安心。職員室のカラーレーザー複合機よりも低コストなので、先生もよく使っています。輪転機を使う機会は減りました。もうモノクロには戻れません。



六ヶ所村立南小学校
野坂 佳孝 校長先生

委員会活動のポスターで校内が彩られる！

キレイに簡単に作れるから、各委員会 ポスター作りが盛んに！

カラー複合機が来たら、各委員会が競ってポスターを作るようになりました。おかげで委員会活動も盛り上がっています。（竹内 美幸先生）



フルカラーの学校・学年便りは、保護者から高評価！

個別最適な学びと協働的な学びの視点で授業改善を進めた結果、子どもたちが『学校が楽しい！』と言うようになりました。成績も上がってきています。そんな子どもたちの姿を見て、保護者の方々も積極的に協力してくれるようになりました。（野坂 佳孝 校長先生）



南小の一人あたり プリント枚数表

南小学校 生徒数 78 名
稼働月数 8 か月
A4 プリンター 3 台
A3 プリンター 1 台

1人当たりの総枚数 **279** 枚
1人当たりの月間枚数 **35** 枚

年間のインク代は1台あたり
2万8000 円程度 ※1

使っている
プリンターは
これ！



エコタンク®搭載モデル PX-M791FT
オープンプライス
参考価格※2 98,978円(税込)
※2 エプソンダイレクトショップ販売価格

1人1台端末からの印刷はエコタンク搭載モデルがおすすめ！

- ① 圧倒的な低印刷コストでトータルコスト大幅減
- ② 大容量インクで消耗品の購入・手間軽減を実現
- ③ 高耐久性と高速印刷の実現
- ④ 複合機ならスキャン機能も！



詳細はこちら▶

PX-M791FTインクボトル

ブラック IT08KA
オープンプライス
参考価格※2 5,720円(税込)
※2 エプソンダイレクトショップ販売価格



シアン IT08CA
オープンプライス
参考価格※2 2,750円(税込)
※2 エプソンダイレクトショップ販売価格



マゼンタ IT08MA
オープンプライス
参考価格※2 2,750円(税込)
※2 エプソンダイレクトショップ販売価格



イエロー IT08YA
オープンプライス
参考価格※2 2,750円(税込)
※2 エプソンダイレクトショップ販売価格



※1：六ヶ所村立南小学校の出力枚数を元にエプソンにて算出、実際に発生した金額ではありません。
※2：エプソンダイレクトショップ（エプソン直販サイト）の販売価格（税込）は2023年10月19日現在のものであり、各販売店での販売価格を拘束するものではありません。
各販売店における販売価格は、各販売店にお問い合わせください。

ビジネスインクジェットプリンターに関するお問い合わせ

050-3155-8700

受付時間 9:00～17:30 月曜日～金曜日（祝日、弊社指定休日を除く）

エプソンの教育市場向けホームページ

epson.jp/edu/j/



リーディングDXスクール指定校は なぜ教室にカラー複合機を常設したか

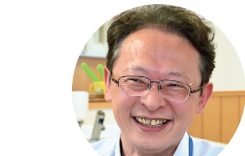


「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点で 授業改善が進む、六ヶ所村立南小学校の日常

1人1台やクラウドなどの GIGA スクール構想環境をフル活用している青森県六ヶ所村立南小学校では、今、授業が変わり始めています。先生主導の一斉授業から、子どもたちが主体的・対話的に、深く学んでいく授業へ。一人ひとりが、自分の課題を追究していく、個別最適な学びへ。その授業改善を、教室に常設されたカラー複合機が後押ししています。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」で カラー複合機を自在に使う子どもたち

授業の導入から まとめまで



六ヶ所村教育委員会 学務課
指導グループマネージャー 木村 智先生



六ヶ所村立南小学校
甲地 美香先生（5年担任）



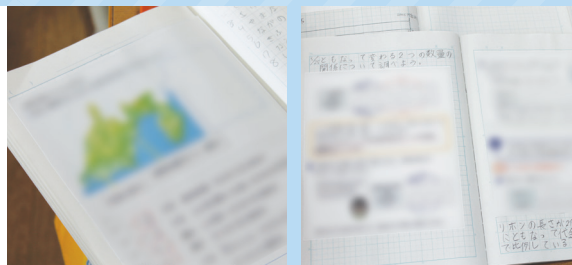
六ヶ所村立南小学校
竹内 美幸先生（4年担任）

※記載の各所属・役職は、2023年9月時点のものです。

01 学びの入り口がスムーズに！

- 授業のねらいである、図や資料を教科書からコピー。ノートに貼る。

書き写す時間を節約でき、本来の学びにじっくり時間を割けるように。
書き写すのが苦手な子が、授業の導入でつまづくこともなくなりました。
（甲地 美香先生）



02 個別最適な学びで、自由に印刷コピー！

- ノートに貼ったコピーをじっくり読み解き、意見や発見を書き込んでいく。
- 自分の課題や疑問に応じて資料を探し印刷。個別最適な学びを進めていく。

教科書には書き込みづらいですが、コピーなら遠慮なく書き込めます。
端末で情報を探して印刷するのが、今や当たり前。個別最適な学びを進めるのに、複合機が役立っています。（竹内 美幸先生）

最初の頃は、こちらが指示しないと子どもたちは動けなかった。でも経験を積むにつれ変わっていきました。今では、一人ひとりが自分で資料を探し、必要なモノを選んで印刷するなど、自分で学習を進められるようになりました。（甲地 美香先生）

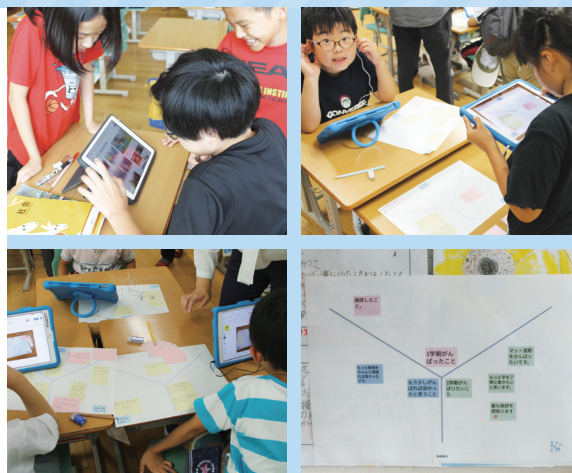


03 協働的な学びの「成果」を残す！

- みんなと話し合ったクラウド上の画面などを印刷して、ノートに蓄積。
- 参考になった友達のノートを印刷して、自分のノートに貼ることも。

協働的な学びは、形として残しにくいですが、印刷しておけば、いつでも振り返られます。（甲地 美香先生）

友達と話し合った内容は、時間が経つと忘れがちです。でも印刷しておけば、対話的な学びの過程や成果を、目に見える形で残せる。読めば、学びの記憶がよみがえる。特に低学年で効果的です。（木村 智先生）



04 印刷して全体像をつかみ、完成度を高める！

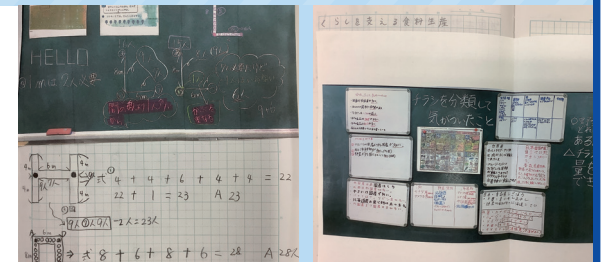
- 作文や新聞などは制作途中に何度も印刷。改善点を見つけたり、アイデアを広げ深めていく。

端末の画面では全体像がつかみにくく、印刷した時と見え方も違います。制作途中で印刷してチェックし、完成度を高めているのが、南小では定番です。（木村 智先生）

05 授業の終わりに板書を撮影し、印刷！

- 先生が書いた板書を撮影。印刷して、ノートに貼る。

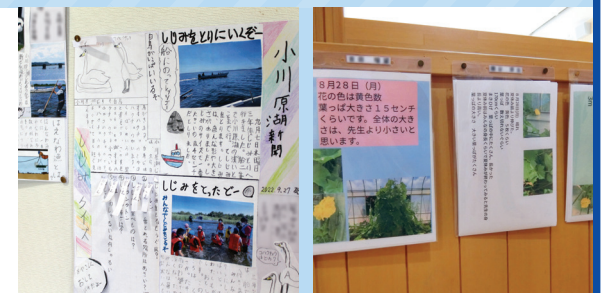
手で書き写すのは、時間がかかりキレイに書けない子もいます。撮りたい子は撮っていいよと、子どもの自主性に任せています。
（甲地 美香先生）



06 最終成果物も印刷。誰でもいつでも見られる！

- 教室の壁に貼ったり、先生が保管して評価に用いたり、持ち帰って保護者に見せたりできる。

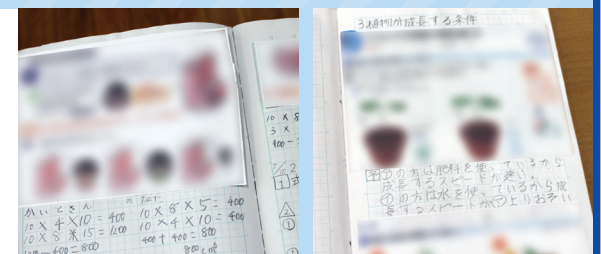
クラウドにも成果物のデータが保存されていますが、探すのがたいへん。印刷しておけば、見たい時にすぐ見られる。掲示すれば、みんなにも見てもらえます。（甲地 美香先生）



07 一人ひとりの学びの成果が、色鮮やかなノートに！

- 子どもたちの多彩な学びが蓄積された、「見返したくなるノート」になる。

『後から見返したくなるノートを作ろう』が、本校の合い言葉。カラー複合機のおかげで、とてもキレイなノートになります。キレイにまとまるから、後から見返したくなるし、学びの意欲も高まります。（甲地 美香先生）



複合機が来て、学校が楽しくなった！



南小では、合計4台のカラー複合機を、各フロアに2台ずつ設置。
教室のすぐ隣にあるので、授業中でもサッと印刷して取りに行ける。

プリンター配置図

